

2017年(平成29年)2月25日 土曜日

東京 音 楽 行

優良

5大学グループが、

地域金融学 国の行政官研修



日経MJ 2017年(平成29年)4月12日(水曜日)

温めて振動して 歯茎マッサージ 大木工業がケア用品



炭素素材の研 究や製造を手掛ける大木工業(大津市)は温熱と振動で歯茎をマッサージする新商品「Caracol(カラコル)」を開発した。通販ル

ートなどで扱 い、初年度は1 万台の販売を計 画している。国 内に加え、米 国 や中国など海外 での販売も視野 に入れている。 本体の先端に 熱伝導率の高い

ベイシア店舗に カインズを併設 新潟・小千谷で改装開業 【前橋】北関東最大手のスーパー、ベイシアは新潟県小千谷市の店舗を改装開業した。生鮮食品やプライベートブランド(PB)自主企画商品などをそろえた大型店「スーパーセンター」に新たにカインズの売り場を導入し、日用品や家具、寝具などの品ぞろえを広げる。

歯茎温めマッサージ

大木工業が開発した歯ぐき専用マッサージ器(京都市上京区・同社京都営業所)



大木工業が開発した歯ぐき専用マッサージ器(京都市上京区・同社京都営業所)

炭素素材の開発や製造を手がける大木工業(大津市)は、歯茎を温めながらマッサージできる機器を京都府立医科大と共同開発し、発売した。先端部の材料に熱を効率的に伝え、炭素を使用。歯周病予防向けに国内外で販売拡大を目指す。

同社は熱伝導率が高い炭素の特性を生かし、内装材やネックレスの玉を生産している。歯茎マッサージ機器は、元歯科材料会社勤務の社員の発案で、6年ほど前から府立医大歯科口腔科学の教授

大木武彦社長は「世界的に口腔ケアへの関心は高まっており、米

口腔ケア用品、ネックレス…

「カラコル」を手商品説明をする大木社長(左)=県庁で



炭素を使った製品を展開する大津市のメーカー「大木工業」が、医療や美容など多彩な分野で次々に新製品を開発している。一月には口腔ケア用品「カラコル」を発売した。炭素を使った商品は、産学協同による信頼性が売り。研究成果が、一気に花開きつつあり、二年後の売上高は現状の十倍倍と大躍進を見込む。(野瀬井寛)

炭素製品 産学協同で熱く

カラコルは、振動と温熱により歯茎をマッサージする道具。電動歯ブラシに似た形で、純度の99.9%の炭素を素材に使った加熱ヘッドを先端に取り付けた。京都府立医科大などとの共同開発で、定価は税抜き二万六千八百円。今後は歯周病の予防効果を検証し、医療機器としての認証を目指す考え。



「しが経済」 かなり、電力消費が少ないうのも特徴という。年間の販売目標は一万个。発売から三カ月で歯科業界からの問い合わせが相次ぎ、通販番組でも取り上げられるなど滑り出しは予想以上に順調だ。二年目には年十万台の売り上げも十分見込める。大木武彦社長(左)の鼻息は荒い。一九七〇(昭和四十

大木工業が開発した炭素を使ったネックレスは万が一津市中野の同社で

の八割を占める主力商品の品になった。成長を支えるのは、多数の学術機関との共同研究で、これまでに四十四件の特許を取得した。「健康への効果を引き出し、検証して売ることが、信頼と売り上げにつながる」と大木社長は言う。 今後一二年で、これまで多くの研究成果が商品化段階を迎える。海外の有名ブランドとの契約も決まっており、美容分野の商品を強化し、二〇二〇年には現在の十倍以上となる五十億円の売上高を目指す。業種別では、製造業が前年度比1.3%が注目されている産業、減少した一方、運輸業向け炭素部品も、拡充や電気・ガス・水道業大を図る。二年、香などは増加した。物価川県に工場を設け、電の変動分を除いた実質子機開発コンテンツを減らした。 法人を含む県民が受けた影響は、前年度比2.1

大津の「大木工業」

軽さと省エネ売り

2014年度の県GDP 成長率全国下回る